



英語力の向上を目指して

昨年「教育課程企画特別部会」より出された「論点整理」にはこのように書かれています。

○グローバル化の中で世界と向き合うことが求められている我が国においては、日本人としての美徳やよさを備えつつグローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力の育成が求められる。言語や文化に対する理解を深め、国語で理解したり表現したりすることや、さらには外国語を使って理解したり表現したりできるようにすることが必要である。

これを受け、中学校の英語科では小学校での外国語活動での学びの連続性を図りつつ、発達段階に応じたより具体的で身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養うために一層の授業改善が必要と言えます。4技能を統合的に関連付けた言語活動を工夫し、系統的に指導していくことが求められます。

これまで英語科では、言語活動の充実を図ってきましたが、生徒一人一人が学びを実感できる授業となっているかどうかを見つめ直す必要があるといえます。**基礎・基本の定着**を図るとともに、習得したことを実際の場面において**活用できる力**を付けるための授業の工夫・改善が必要です。

管内の外国語の課題は、

●「書くこと」の力を伸ばすこと

狙い(付けたい力)を明確にし、「わかった、できた」と生徒自身が実感できる授業づくりを進めることが重要です。そのためには、まとめ・振り返りでの書く活動を充実させ、次時の学びへの意欲や家庭学習へつなげていくことも大切です。

●得意な生徒を増やすこと

英語に関して苦手意識の高い生徒の意欲を高める一方、得意とする生徒の力をさらに伸ばし、積極的に外国語の学習に臨む生徒を育てることが重要です。学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けて、互いの考えや気持ちなどを英語で伝え合う対話的な言語活動を重視した授業を充実させ、教師・生徒共に英語の発話量を増やしていくことが求められます。

英語科指導改善のポイント

◎付けたい力の明確化 ~ **Can-Do** ~

~ 狙いに応じた課題と言語活動の設定 ~

◎まとめ・振り返りの充実 ~ **Conclusion** ~

~ 「わかった、できた」を自覚させ確実な定着を ~

◎家庭学習との連動 ~ **Challenge** ~

~ やればできると実感でき、書く力のつく宿題の工夫 ~

英語は繰り返すことで力が付きます！

効果をあげている実践例

【加賀市立山中中学校】

○授業づくりの工夫

- ① **単元のスタート時にゴールの姿**を示す。(生徒の興味・関心を引く話題に)
- ② Repeat やペア活動を多く取り入れ音声での定着を図る。
- ③ **まとめの後は必ず自己表現し、英文を書く。**
- ④ 自己表現は単文でなく、複数の文で書き、理由や関連する文を加えたり、絵を描かせたりする。

○基礎基本の定着

- ・動詞の活用…1年時の動詞カルタをパターンを変えて学年が上がっても活用する。
- ・音読…日本語と英語を交互に発音したり、CDを使ってシャドウイングを行う。
- ・ペアで会話練習し発表を行うだけでなく、英作文も行い、全員が参加できるようにする。

○家庭学習

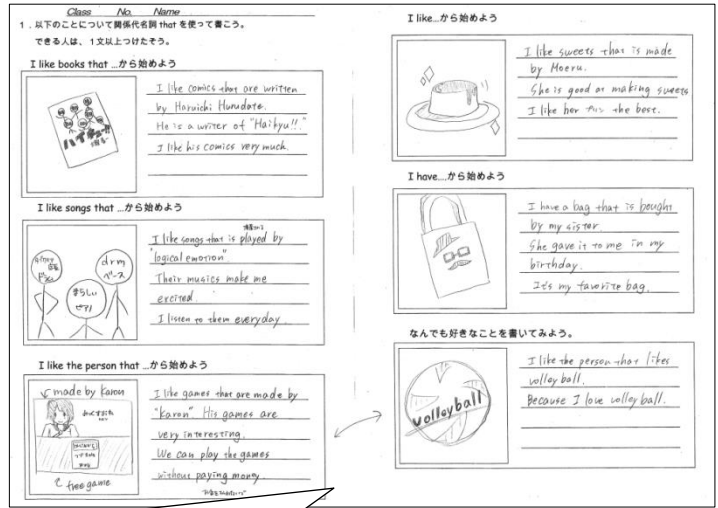
Writing ノート 1カ月に100文を書く。
→ 定期テストごとに提出
夏休み 300文 年間 1200文

○相互評価 (生徒同士の評価) の工夫

- ・回し読みをして付箋を付ける。
- ・発表の評価カードにコメントを付ける。
- ・成果物の掲示

○定期テストの充実

- ・**表現 (書くこと) の問題を多く配点**
単文・会話文・テーマ作文など数種類を出題する。
- ・**3年間で付けなければいけない力**を意識して出題する。
(長文読解も含めて問題傾向を考慮)



新出文型を使った英作文を、絵と共に楽しみながら、複数の文で何種類も書く工夫がされたワークシート例

【加賀市立片山津中学校】

○全校での取組体制

- ・毎日2教科の教師自作の**宿題**を課し、その内1教科は必ず**英語**とする。
- ・宿題内容は、単語や基本文、文法など基礎基本をプリントに数回書くこと。20分程度で書き終えることのできるようなもの。

○宿題と授業の連動

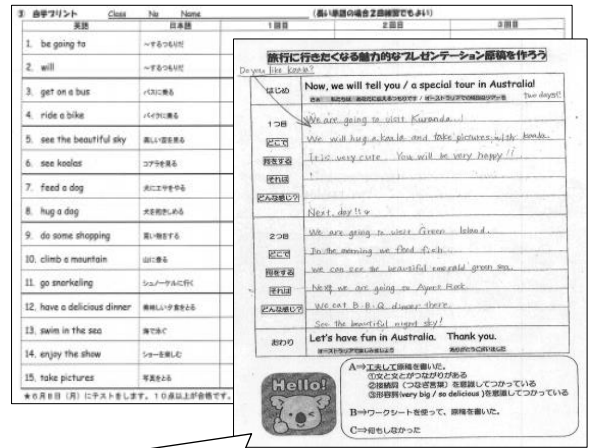
宿題で練習した単語を用いる活動を授業中に行うことで、練習したことが「使える」という実感を持たせる。
(授業中は家庭学習で身に付けた**基本的知識**を使って、**活用する活動**を意識して設定する。)

○小学校の外国語活動を踏まえた系統的指導

- 小学校…リズム、名詞中心
- 中学1年…動詞を中心に押さえる
- 中学2年…形容詞の習熟、意味的つながりを大切にする

○学習意欲を高める取組

- ① 英検の問題掲示
廊下に英検の問題を掲示し、立ち止まって挑戦してみることで、実際に受験しようとする生徒が増えた。(自学を促す取組)
- ② 「読む」力を付けるために、本文の対話の続きを考え、**1文付け加えて書く活動**を設定する。
単元や学年で付けるべき力を考える際に、基礎学力調査や入試への対応力を付けることを常に意識して指導する。
- ③ 「書く・話す」力を付けるために、**生徒が表現したいと思う課題**を設定する。



宿題で練習した表現を使用して、授業中にプレゼン原稿をペアで作成した例(原稿作成前に発音練習を兼ね重要表現のカルタとりも行いました)

この他にも両校では生徒の**習熟度に応じたヒントカードやワークシート**等が準備され、ステップを踏んだ流れで、**全員が参加できる授業**が工夫されています。是非参考にしてください。